

編集後記

日本医史学雑誌第64巻2号をお届けいたします。今号は第119回日本医史学会学術大会の抄録号、演題抄録78題と誌上発表10題、シンポジウムおよび特別講演の抄録より構成され、盛りだくさんの内容となっています。また、内容も、例年のとおり、西洋医学から東洋医学、古代から近代にいたる幅広い分野が網羅され、大会が待ち遠しくなる内容となっています。

私個人としては、近現代史に関する演題が充実しているように見受けられ、大変頼もしく感じております。自分の主な研究領域である公衆衛生活動・政策は、その性質上、対象数が限定され、また人為的な介入も困難であるため、時系列による比較対照が有効な方法となります。手前味噌になってしまいますが、いわば、研究デザインとしての“歴史的アプローチ”もまた、医史学を構成する要素の一つになれば、と思考しております。

今回寄せられた演題も、例年通り高水準で活発な議論が寄せられるものと存じます。皆様におかれましては、大会でのご議論を踏まえ、論文としてご投稿いただけるよう、編集委員一同、お待ちしております。私自身も会員として論文を投稿しなければならないので、自戒を込めつつ、

(逢見 憲一)